

2024年3月27日

東急不動産ホールディングス株式会社

社会課題を「サステナ体感型プログラム」で自分ごと化

～社員の自発的な行動を促す「サステナ月間」を開催し、人財育成を強化～

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：西川 弘典、以下「当社」）は、当社グループ全体のサステナビリティ経営の推進を加速させるため、社会課題を自分ごととして捉えるための学びの期間「サステナ月間」を開催。その一環として、NPO法人クロスフィールズ（所在：東京都品川区、代表理事：小沼大地、以下「クロスフィールズ」）と共同でサステナビリティ人財を育成する対話型e-ラーニング「サステナ体感型プログラム」（以下「本研修」）を開発、実施いたしました。

社員にサステナビリティ意識を浸透させることは、世の中の多くの企業の課題であり当社としてはこの取り組みが、そうした同様の課題を持つ企業に対するモデルケースとなることも企図しています。今後も、クロスフィールズと共に、この取り組みを単なる社内研修に留めず、社外のステークホルダーの皆様へと拡大できる方策を継続検討してまいります。



世界的にもESGへの取り組みに注目が集まるなか、企業が事業の中で経済的・社会的な持続可能性を同時に実現する「サステナビリティ・トランスフォーメーション」を推進する重要性が高まっています。また、人財を企業の重要な「資本」と捉え、人財育成への投資により中長期的な企業価値向上につなげる人的資本経営が求められています。

当社グループでは、このような状況を踏まえ、長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を策定し、サステナブルな成長を目指しています。そして、取り組みを推進するためには、社員ひとりひとりが社会課題を自分ごととして捉え、自社が関わるサプライチェーン全体を通して事業の社会的な持続性を考え、行動することができる人財の育成が必要だと考え、社員浸透施策を進めています。

この度、社員育成を目的とし、当社グループ社員がイベントに参加することを通じて、サステナビリティを体感し自分ごと化する「サステナ月間」を2024年2月に初めて開催し、「サステナ月間」イベントの一つとして本研修を実施したものです。

■サーキュラーエコノミーを”感じる”「サステナ体感型プログラム」

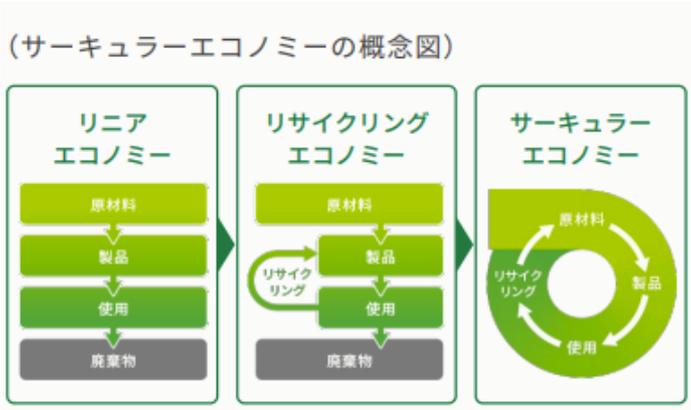
全社方針の一つに「環境経営」を掲げ、具体的には「脱炭素社会」「循環型社会」「生物多様性」という3つの重点課題への取り組みを推進しています。その中でも「循環型社会」は、特に社員に本質的な目的を浸透させることが難しかったことから、循環型社会を考えるための視点「サーキュラーエコノミー」※1について学びを深めるプログラムをクロスフィールズと共同開発しました。



このプログラムでは、ステークホルダーへのインタビュー映像や360度映像を活用したe-ラーニングを少人数のグループで受講し、ディスカッションを通じて理解する「対話型 e-ラーニング(クロスフィールズ提供)」をベースに、当社向けに独自開発したものです。

約1時間のプログラムを通じ、当社ともつながりの深い岡山県西栗倉村※2で行われる「サーキュラーエコノミー」の営みと自社での環境への取り組みを学び、自分たちの業務にどう活かせるかを一人ひとり考える機会を設けました。参加者からは「複数名受講とすることで集中して参加できた」「他の参加者の発言から学ぶこともあり、良い形式」など、内容は勿論プログラムの実施形態を評価する声も多く聞こえています。

※1 社会経済において、一方通行で資源を大量消費・大量廃棄してきたリニアエコノミーから、一部を再資源化するリサイクルリングエコノミーへと歩みを進め、今後は、廃棄物ゼロ・資源再生により自然界からの調達減によるサーキュラーエコノミーを目指すことが求められています。限りある資源の有効活用のため、当社グループでも環境負荷の低減を図るとともに、循環型社会の実現に取り組んでいます。



※2 当社グループがお客さまなどステークホルダーと一緒に、森林を保全する取り組み「緑をつなぐプロジェクト」では、「百年の森構想」を進めている岡山県西栗倉村の森林保全活動と連携し、マンション購入や管理受託、オフィス、ホテル・レジャー施設の利用、中古住宅の売買仲介、といったさまざまなご利用に応じて森林を保全しています。(<https://tokyu-midori.com/>)

また、サステナ体感型プログラムについてご紹介するイベントをクロスフィールズと共催いたします。



【開催概要】

日時：4/22(月) 17:00～20:00 (*16:45より入場可能)
 場所：東京都渋谷区道玄坂1-21-1 渋谷ソラスタ10F COLABO!
 参加費：無料
 イベント詳細・申込：https://21817745.hs-sites.com/240422_empathyvr

【NPO 法人クロスフィールズの概要】

クロスフィールズは、国内外の社会課題の現場とビジネスパーソンをつなぐことで、社会課題解決とリーダー育成の両方を実現することを目指す非営利組織です。社会課題解決の現場に企業の社員が飛び込み、現地のNPOや社会的企業とともに課題解決に取り組む「留職」プログラムのほか、国内外の社会課題の現場を「体感」する経営幹部・役職者向けのプログラム「社会課題体感フィールドスタディ」などの事業を展開しています。(ウェブサイト：<https://crossfields.jp/>)

■サステナ月間の開催 ～サステナビリティを体感しよう～

当社グループでは社員へのサステナビリティの浸透に向け、日々知識や情報提供を社員へ行っていますが、社員ひとりひとりが自分ごと化して実際に取り組みに落とし込むことは容易ではありません。今回が初開催となる「サステナ月間」では、社会課題を自分ごととして捉え、行動するためには「学ぶ」だけでなく「体感」する機会を提供することが大切だと考えました。

「サステナビリティを体感しよう」をテーマに掲げ、「環境」「DX」「人財」の切り口から1か月間で計14のイベントを展開し、約3,000名(各イベントの累計)の社員が参加。日常の業務に追われ、立ち止まって考える時間が限られるサステナビリティについて、本研修をはじめ、社員ひとりひとりがイベントへの参加を通じてサステナビリティを体感し、自らの事業にどのように落とし込めるかを改めて考えるきっかけとなりました。

次年度以降も、サステナ月間をはじめサステナビリティの取り組みの加速に向け、社員への浸透策を強化して参ります。

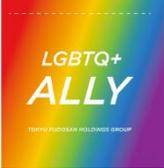


サントリー様を招待し、サステナビリティに関する
パネルディスカッションを実施



現地視察風景

■その他イベント概要

<p>モッタイナイバー ーwith サントリー ー</p>		<p>サントリー（株）からからご提供いただいた、期間限定品や旧デザイン品等本来廃棄されてしまうお酒を楽しむ「モッタイナイバー」とともに、同社のサステナビリティ取り組みをご紹介いただくパネルディスカッションを実施</p>
<p>事業地視察</p>		<p>都内事務所ビルとして初めて NearlyZEB を取得した当社グループ施設「NOTIA」（株）東急コミュニティーや、東急不動産（株）と提携する再生建築研究所にご協力いただき再生建築施設の視察ツアーを開催。</p>
<p>オフィスでのエコ活動</p>		<p>当社グループ各社のオフィスや一部事業所に回収ボックスを設置し衣料品のリサイクル・雑貨品のリユースを実施した他、オフィス来訪者へ提供するカートカン・紙コップを 100%リサイクルする活動やこまめな消灯など、身近な取り組みを実施</p>
<p>Chat GPT 勉強会</p>		<p>ChatGPT を活用するための「プロンプト力」を鍛えるための勉強会を開催</p>
<p>DE&I イベント</p>		<p>認知症・障害・LGBTQ+をテーマにVRを通じ、様々な立場の体験ができる「VR 体験会」や、育児・介護など同じテーマについて話したい社員が集う「DE&I おしゃべり会」などを開催</p>
<p>LGBTQ + フレンドリーキャンペーン</p>		<p>LGBTQ+についての理解促進や、支援・協働する人を指す ALLY を増やす取り組みとして、ALLY ステッカーと LGBTQ+フレンドリーガイドブックを制作・配布</p>
<p>サステナマイルプログラム</p>		<p>（株）ProofX にご協力いただき、サステナ月間のイベント参加者向けの NFT を活用したデジタルスタンプラリー「サステナマイルプログラム」を実施。</p>